令和４年７月１日　第４号

坂戸市立三芳野小学校学校だより

若　葉

みよし野のたのむの雁もひたぶるに
　君が方にぞよると鳴くなる
わが方によると鳴くなるみよし野の
　たのむの雁をいつか忘れむ（「伊勢物語」）

のびのびと生きる子…みんなと仲良くする子、よろこんで学ぶ子、しんけんに体をきたえる子

目指す学校像　〇一人ひとりが学校・地域を愛し、より良い自分をめざし、力を発揮する。
　　〇一人ひとりが仲間から必要とされ、互いの良さを認め合う。

≪挨拶への思い≫

木々の緑が美しい季節を迎えました。梅雨明けの待たれる今日この頃です。

子供たちは夏の到来を思わせるように学校生活を生き生きと送っています。

さて、始業式では、「気持ちの良い挨拶ができる日本一の小学校を目指します」と子供たちに話をしました。この一年を通じて気持ちの良い挨拶が身につくことを願っています。この取組を続けることで、自ら進んで気持ちの良い挨拶ができる三芳野っ子になってほしいものです。

朝の「おはようございます」という短い言葉には、「私は、あなたのことを大切に思っていますよ。今日も一日よろしくね。」という気持ちが込められています。自分から挨拶ができる人は、相手の人からも大切にされ、人とのつながりを充実させた生活を送ることができると考えます。

子供たちは、日々多くの人に見守られています。雨の日も酷暑の日も、登下校の安全を守ってくださっている方々、地域の方々、どなたも子供たちの健やかな成長を願い、献身的に尽くしてくださっています。

先ずは、子供たちがそのような人々の温かい心に気付き、感謝の思いを持つこと、そして、感謝の気持ちを「おはようございます」「ありがとうございます」という言葉に思いを込め、気持ちの良い挨拶ができる人になってほしいと考えます。三芳野小学校では、今後も長い期間をかけて、「気持ちの良い挨拶ができる日本一の小学校」を目指していきます。

しかしながら、学校だけでは子供たちに気持ちの良い挨拶をする習慣を身に付けさせることは困難です。ご家庭でも「おはようございます」「ありがとうございます」「いただきます」「ごちそうさま」「行ってきます」「行ってらっしゃい」等の挨拶の大切さについてお話しいただけますよう、お願いいたします。

家でも、学校でも、地域でも、気持ちの良い挨拶をできるようになることを願っています。

1･2年　玉入れ

３年　大玉ころがし

４年　台風の目

５年　お助け綱引き

６年　障害物リレー

全校　大玉送り

6/10 ４年田植え

6/10 ２年 サツマイモ苗植え